

令和7年度 学校教育に関するアンケート結果を受けて

本アンケートは、令和7年12月に実施した保護者および学校運営協議委員の皆様からの回答をもとに集計したものです。多くの貴重なご意見をいただき、心より感謝申し上げます。いただいた評価とご意見を踏まえ、令和8年度に向けた改善方針を以下の通りまとめました。

1 学習環境の向上

- ・授業規律に関する評価が大きく向上し、「話を聞く」「姿勢を整える」などの基本的な学習態度が定着してきている。今後もこの流れを大切にし、生徒が主体的に学ぶ授業づくりを推進します。
- ・ICT活用授業や少人数指導について、「わからない」という回答が多く見られました。授業の様子や成果が伝わるよう、授業公開や学校・学年だより、X等での発信を強化し、学習の可視化を進めます。
- ・地域人材を活用した授業については肯定的評価がやや低下しました。今年度も積極的に授業を実施しましたので、年間計画の事前周知や、実施後の学びの共有を行い、取組の意義が伝わるよう改善します。
- ・道徳授業やキャリア教育については、内容の充実とともに、保護者への情報提供を強化し、学校の取組がより理解されるよう努めます。

2 生活指導の強化

- ・登下校のマナーに関する評価は改善が見られましたが、依然として課題も残っています。生活指導部を中心に、通学路等の巡回や地域との連携を継続し、安全で落ち着いた登下校を支援します。
- ・いじめ・不登校に関する取組では、「わからない」という回答が多く、学校の対応が十分に伝わっていない状況が見られました。いじめ防止に関する取組、スクールカウンセラーの相談日程や相談窓口の案内を定期的に発信し、見える化を進めます。
- ・「なんでも相談」や生活アンケートなど、早期発見のための取組を継続するとともに、実施状況や内容を保護者へ丁寧に共有し、安心していただけるよう努めます。
- ・いじめ防止に向けた教育・啓発活動を計画的に実施し、生徒自身が考え、行動できる力を育てます。来年度から、年3回すべての学級で「いじめ防止に関する授業」を実施します。

3 学校運営・情報発信の充実

- ・学校経営計画や学年経営方針については概ね高い評価をいただきましたが、一部に「わからない」という回答も見られました。今後は資料や短い動画などを活用し、より分かりやすく伝える工夫を行います。
- ・学校だより、学年だより、ホームページ、X等による情報発信は高い評価を維持しています。引き続き、学校の取組や改善状況をタイムリーに発信し、学校活動の見える化を進めます。
- ・学校運営協議委員の皆様に対しても、学校の重点取組や成果を定期的に共有し、地域とともに学校を支える体制を強化します。

4 安心・安全の確保

- ・不審者対応やハイテク犯罪防止に関する評価が低下し、「わからない」が大幅に増加しました。訓練や講習の実施報告を丁寧に発信し、学校の安全対策が伝わるように改善します。
- ・施設・設備の安全管理については肯定的評価が大きく向上しました。今後も計画的な点検・修繕を継続し、改善箇所については保護者へ分かりやすくお知らせします。
- ・給食に関する評価は概ね良好ですが、引き続き衛生管理や食育の充実に努め、栄養士による情報発信も強化します。

5 学習習慣の定着

- ・「六中タイム」による家庭学習の習慣化は大きく改善が見られました。今後も継続して取り組み、生徒の学習習慣の定着を図ります。
- ・「BT（ブレイントレーニング）」については「わからない」が多く、目的や効果が十分に伝わっていない状況です。年度初めにねらいを明確に説明し、実施状況や成果を発信していきます。
- ・六中タイムやBTについては、どのような力がどの程度伸びているのかを継続的に分析し、その効果を評価していく必要があります。その結果を保護者の皆様にも分かりやすくお伝えしながら、取組の改善につなげていきます。